

■ 郵便

◇日本に 郵便を おくる

- ① 定形郵便物<郵便局で きまっている 大きさ>(封筒):25グラムまで 84円、50グラムまで 94円
(たての 長さ 14センチから 23.5センチまで、よこの 長さ 9センチから12センチまで、厚さ 1センチ以下。重さ 50グラムまで)
- ② 定形外郵便物(封筒):重さや 大きさが ねだんが 変わります。
- ③ はがき 63円、ミニレター<たたむと 封筒になる 手紙> 63円、往復はがき<いきと かえりの 2枚が いっしょになった はがき> 126円
- ④ 小包郵便(ゆうパック)<荷物>:大きさと おくる 場所で ねだんが 変わります。
(たてと よこの 長さ、厚さを あわせて 170センチまで。重さ 30キロまで)
・本などを おくるときは ゆうメールを 使うと やすいです。(重さ 3キロまで)
・荷物を 入れる 箱は 郵便局で 買うことが できます。
- ⑤ 速達<はやくつく 郵便>:急いで とどけてもらいたいときは「速達扱い」にして ください。ふつうの郵便より みじかい 時間で とどきます。
- ⑥ 書留<大切なものを おくる 郵便>:お金、大切な 手紙や 物は「書留」にして ください。もしも なくなったときは かわりの お金を もらうことが できます。郵便局で もうしこんでください。

*うけとった人の はんこや サインが 必要な手紙や、荷物が とどいたとき、家に いなければ、とどけた人は「不在配達のお知らせ<もってきたけど いませんでしたという お知らせ>」を おいていきます。7日以内に 郵便局に とりにいってください。このとき、ハンコと 身分証明書(パスポート、在留カード、運転免許証など)を もっていってください。もう 1回 家へ もってきてもらうことも できます。いつ とどけてほしいか、郵便局に 知らせてください。

◇外国へ 郵便を おくる

- ① ふつうの 郵便
航空便<ひこうきで おくる 郵便>で、手紙、はがき、本などを おくること が できます。3日から 6日くらいで とどきます。
- ② EMS(国際スピード郵便)
航空便より はやく とどきます。
- ③ 国際小包<荷物>
航空便、船便、エコノミー航空(SAL)便<航空便より やすくて 船便より はやい>の 3つが あります。
おくる 荷物が 多いときは、ねだんが 10%から 20% やすくなります。

重さは 30 キロまでです。(おくる 国によって ちがいます)
 送り状<おくるための 紙>に 必要なことを 書いて、荷物に はって ください。

◇自分の 国へ かえるときや 引っ越すときの 手続き

自分の 国へ かえるときや 引っ越すまえに、郵便局に 知らせて ください。日本の なかなら、引っ越した あとの 新しい 住所へ 1年のあいだ 郵便を おくってくれます。お金は かかりません。もうしこむときに 使う はがきは 郵便局に あります。

*郵便局が あいている 時間

<http://map.japanpost.jp/p/search/>

*日本郵便株式会社では 英語で 書いた ホームページが あります。郵便のことや、ねだんについて 知ることが できます。

<http://www.post.japanpost.jp/english/index.html>

■宅配便<荷物を おくる>

日本で 荷物を おくるとき、郵便のほかに、宅配便を 使うことが できます。コンビニエンスストアなどでも もうしこむことが できます。冷凍した 食べものを おくったり、スキーや ゴルフの道具を おくることも できます。

荷物を とりくる時間や おくる 場所で、何日かかるかが 変わります。おくる 場所の 遠さや 荷物の 大きさに ねだんが 変わります。荷物を おくることが できないことも あります。

■電話・電報<みじかい文を おくる>

◇電話の かけかた

日本の 電話番号は、市外局番- 市内局番- 加入者番号の 3つを あわせたものです。受話器<話す ところ>をとった あと、番号の ボタンを おします。

ただし、自分と同じ市外局番の相手に電話をかけるときは、市外局番は、いりません。

*携帯電話から かけるときは、ぜんぶの 番号を おして ください。

例

市外局番	市内局番	加入者番号
043	123	4567

◇電話を 新しく つけるとき、引っ越すとき、もつ人の 名前が 変わるとき

近くの NTT の 事務所へ いって ください。身分証明書(パスポート、在留カード、運転免許証など) を もっていって ください。

◇便利な 電話番号

新しく 電話を つけるとき 116

電話が こわれたとき 113

かけたい人が 電話を 使っているか 知りたいとき 114

電話番号を しりたいとき(お金がかかかります) 104

正しい 時間を 知りたいとき(お金がかかかります) 117

天気予報を ききたいとき(お金がかかかります) 177

◇英語の 案内

NTT東日本

<http://www.ntt-east.co.jp/en/>

電話:116 か 0120-116-000

月曜日から 金曜日までの 午前9時から 午後5時まで
(祝日、12月の おわりと 1月の はじめは 休み)

◇電話を つかうのに かかる お金

基本料(回線使用料) <電話を もつことに かかる お金>と 通話料金<電話を かけるときに かかる お金>が あります。

基本料は NTT に はらって ください。通話料金は すきな 電話の 会社から 選ぶことも できます。

NTT以外の 電話会社を 使うときは、使う まえに 契約<使うための やくそく>が 必要です。使いたい 電話会社に きいて ください。

◇電話の お金を はらう

電話の お金については、毎月、会社から 請求書<はらう ねだんを 書いた 紙>が 郵便で きます。

ちかくの 銀行、郵便局、コンビニエンスストア、電話会社の 事務所で はらって ください。口座振替<銀行などに あずけている お金から 毎月 はらう>も できます。

◇携帯電話を 買う

携帯電話の 店や 家電量販店<テレビなど 電気製品を うる 店>などで 買うことが できます。

身分証明書(パスポート、在留カードなど)が あります。毎月の お金を はらう 手続きに 必要なもの(クレジットカードなど)も もって行って ください。詳しいことは、携帯電話を 買う 店で きいて ください。

◇公衆電話<まちに ある 電話>

公衆電話では、10円玉、100円玉 テレホンカード<公衆電話を かけるときに 使う カード>をつかうことができます。100円玉を使ったときは おつりが できません。注意してください。

受話器<話すところ>をとった あと、お金か テレホンカードを に入れてください。「ブー」という ひくい音が きこえたら、かけたい 番号の ボタンを おして ください。話している あいだに お金が なくなりそうになったら、「ピー」という すこし たかい音が きこえます。もっと 話をしたいときは、新しい硬貨か テレホンカードを に入れて ください。

公衆電話で 外国へ 電話を かけるときは、デジタル公衆電話(はいいろの 公衆電話)を使って ください。国際電話を かけることができる 公衆電話の きかいには、「国際電話が ご利用できます」と 書いてあります。それを みてから 使って ください。

テレホンカードは、NTT や コンビニエンスストアなどで 買うことができます。

◇国際電話<外国へ かける 電話>

・国際ダイヤル通話

電話を かける人が 自分で 外国の かけたい 番号を おして ください。

*マイラインか マイラインプラスに はいっている 場合

(010)+国の 番号+かけたい人の 電話番号

*マイラインか マイラインプラスに はいっていない 場合

電話の 会社の 番号+(010)+国の 番号+かけたい人の 電話番号

国際電話の 会社は 下の ような ところがあります。会社によって かかる お金が ちがいます。会社に きいて ください。

・KDDI:001 (くわしい 話を きく 電話番号:0057)

・NTT コミュニケーションズ:0033 (くわしい 話を きく 電話番号:0120-506506)

・ソフトバンクテレコム:0061 (くわしい 話を きく 電話番号:0120-03-0061) など

・国際オペレーター通話:0051

はじめに 電話会社の人に たのんで、外国の 話したい人を 電話のところまで 呼んでもらいます。

<http://www.001.kddi.com/lineup/operator/>

◇電報<電話をかけて みじかい 手紙を つくって おくってもらう>

電報は 下の 電話会社で たのむことができます。

・NTT:115(午前8時から 午後10時まで)

・KDDI:0120-44-5124(月曜日から 土曜日までの 午前9時から 午後5時まで)